| 学校番号 | 3025 |
|---|---|

# 令和８年度　理科

| 教科 | 理科 | 科目 | (学)地学演習 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | なし | | | | | | |
| 副教材等 | 「地学基礎」(数研出版)<br>「ニューステージ地学図表」(浜島書店)、「セミナー地学基礎」(第一学習社)<br>「マーク式基礎問題集地学基礎」(河合出版)、「ビジュアルプラス地学基礎ノート」(実教出版) など | | | | | | |

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

２学年で学習した「地学基礎」の内容に関して問題演習を行う。地球と宇宙に関する「地球の概観と構造」「地球の活動」「地球の歴史」「大気と海洋の構造と運動」「宇宙の構造と進化」という５つの分野の基本事項を復習しながら内容理解を深める。地球や地球を取り巻く環境への関心を高め、地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を理解させ、科学的な見方や考え方を養う。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

授業の始まりの際に行う小テストで前回の授業の理解度判定を行い、目的意識をもって地学的に探究する能力と態度を育てるとともに、地学の基本的な概念や原理・法則を再確認させ、科学的な見方や考え方を養う。

【思考力、判断力、表現力等】

変動する地球について観察、実験などを通して探究し、地球がプレートの運動や太陽の放射エネルギーによって変動してきたことを理解する。また、地球環境と人間生活とのかかわりについて理解する。

【学びに向かう力、人間性等】

宇宙の誕生と地球の形成について観察を通して探究し、宇宙の中の惑星としての地球の特徴を理解させる。

身の回りで起きている毎日の気象変化や環境変動、自然災害などについて、その原因を探る知識を持ち、考える能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a:知識・技能 | b:思考・判断・表現 | c:主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 地学的な事物・現象に関する知識を身につける。授業の始まりの際の小テストにおいて、知識の定着をはかる。観察、実験などを通して作成するレポートにおいて、地学的な知識の定着をはかる。 | 地学的な事物･現象の中に問題を見出し、事象を実証的、論理的に考えたり、分析的･総合的に考察したりして、科学的に思考し、表現する能力の定着をはかる。授業の始まりの際の小テストにおいて、思考力の定着をはかる。 | 地学的な事物・現象に関心や探究心をもち、意欲的にそれらを探究するとともに、科学的態度を主体的に身に付ける。地学実習の際に、自ら考えて取り組む姿勢を養う。レポートにも自らの考えをまとめる。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 1学期 | 活動する地球 | 1.地球の形や大きさについて復習する。<br>2. 地球の層構造を復習し、表面と内部の性質の違いを理解する。<br>3.地震のおこるしくみと震源断層の規模と位置について復習する。 | a:地球の形や大きさについて意欲的に学ぶ姿勢を持つ。<br>b:地球の構造、地球内部の構成物質・物性の違いによる区分を理解し、知識が定着している。<br>c:世界の地震の分布、日本付近で発生する地震の種類について理解し、知識を身に付けている。 | 学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査 | 学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査 | 探究活動、ノート・観察・実験ワークシート |
| | 地球を形成する大地 | 1.火山帯でのマグマの発生について復習する。<br>2.火成岩の分類と形成について復習する<br>3.変成岩の分類と形成について復習する<br>4.堆積岩の分類と形成について復習する。 | a:火成岩の分類と形成方法の違いを説明できる。変成岩の分類と形成環境の違いを説明できる。堆積岩の分類と形成原因を説明できる。<br>b:マグマの形成と火山地形・種類について考察できる。<br>c:意欲的に火山の特徴と身の回りの現象を結び付けて考えることができる。 | 学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査 | 学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査 | 探究活動、ノート・観察・実験ワークシート |
| | 移り変わる地球 | 1. 風化と河川の働き、地層の形成と堆積構造について復習する。<br>2. 地質構造（断層、褶曲、整合と不整合）について復習する。<br>3.先カンブリア時代から新生代第四紀までの地球環境の変化と生物界の変遷について復習する。 | a:河川のはたらきと風化、地層の形成、堆積構造に関心をもち、地層に関して意欲的に探究しようとしている。<br>b:断層や褶曲、不整合などから、過去の地殻変動の歴史を推定することがでる。<br>c:先カンブリア時代から新生代第四紀までの、地球環境の変化と生物界の変遷を理解し、知識を身に付けている。 | 学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査 | 学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査 | 探究活動、ノート・観察・実験ワークシート |
| 2学期 | 宇宙における地球 | 1. 宇宙の始まりを学習し、ビッグバンや宇宙の晴れ上がりについて、宇宙の広がりと銀河の分布を学習し、宇宙の大規模構造について理解する。<br>2.太陽のエネルギー源や太陽の表面現象について学習し、太陽の構造について理解する。<br>3.太陽系の構造と誕生について学習し、太陽系がどのように形成されたのかを理解する。 | a:ビッグバン、元素の誕生や宇宙の晴れ上がりに関心をもち、宇宙の始まりについて意欲的に探究しようとしている。<br>b:宇宙の広がりと銀河の分布に関心をもち、宇宙の姿について意欲的に探究し、それらを発表するためにまとめる。<br>c:太陽表面の構造から太陽活動を考える。地球型惑星と木星型惑星の違い・原因を説明できる。原始太陽、原始太陽系星雲、微惑星、原始惑星を理解する。 | 学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査 | 学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査 | 探究活動、ノート・観察・実験ワークシート |

| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 大気と海洋 | 1．大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造を学習する。<br>2．大気中の水、雲の発生について理解する。<br>3．緯度によるエネルギー収支を学習し、大気の大循環について理解する。<br>4．日本の四季の変化について理解する。<br>5．海洋表層の循環と鉛直方向の循環について復習する。 | a:大気の組成、大気の圧力、大気圏の構造について関心をもち、各種の気象情報を積極的に日常生活に利用しようとしている。<br>b:飽和水蒸気圧と温度との関係を示すグラフから、相対湿度を計算によって求めることができる。<br>c:大気のエネルギー収支、温室効果を理解し、知識を身に付けている。大気と海洋の関係、熱の南北輸送を理解し、知識を身に付けている。 | 学習状況観察、ノートの記述、小テスト、定期考査 | 学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表、定期考査 | 探究活動、ノート・観察・実験ワークシート |
| 3学期 | 全体の総復習 | 1．「地学基礎」、「地学演習」で学んだ内容を総復習する。<br>2．教科書・問題集の演習問題を数多く解くことができる。<br>3．今後の地球環境や災害への備えに関して、自分の意見を持ち、生きる力を養う。 | a:「地球内部構造と変動」について考える能力が身についている。<br>b:「岩石・地層分野」について考える能力が身についている。<br>c:「宇宙分野」について考える能力が身についている。「気象・海洋分野」について考える能力が身についている。 | 学習状況観察、ノートの記述、小テスト | 学習状況観察、ノート・ワークシートの記述、発表 | 探究活動、ノート・観察・実験ワークシート |

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度